



## 01 季節ブレンド

### 義理なんてない。本気(マジ)なんだ!

2025年のバレンタインブレンドは、J.C.Q.A 認定コーヒー鑑定士×生豆鑑定マスターがコラボした「まるでチョコレートのような」コーヒーが登場。※チョコは入っていません。確かなカカオ感とほんのりバニラのような香りが特徴的でした。可愛い豆売りパッケージも好評でした!



### 暖かい木漏れ日をイメージ。

暖かい木漏れ日をイメージした優しく穏やかな春限定【春のこもればいブレンド】。やや青臭い、春がすみ、若葉のような風味に仕上がりました。春の陽気に包まれながらのんびり飲みたいコーヒーです。得意先さまにて、案内写真を撮影させて頂きました。



### さあ、あなたはどっち派?

暑い夏にぴったりの“すっきりモダン”なサマーブレンドが登場。もちろんこれだけでも大満足ですが、今年のおススメは「飲みくらべ」! 苦みでガツンと萩原アイス。フルーティで爽やかなサマーブレンド。飲み比べを楽しんでもらえるようなデザインにしました。どちらも違った魅力で、夏を彩りました。



### 子ども達のイタズラに耐えられるか?!

ハロウィンブレンドの配合はゲーム形式で決めています。学校帰りに、気軽に参加できるゲーム。1人5球ずつ麻玉を投げてもらい、箱に入った麻玉の数で配合を決めました。月曜日に参加してくれた子が、水曜日に友達を連れて投げに来てくれたりと、徐々に盛り上がりを見せて行きました。



### 年々短く感じる秋。

J.C.Q.A 認定コーヒー鑑定士監修の【オータムブレンド2025】ナッツ感にスモーキーさが混ざり、秋の味覚、栗や芋を思わせる味わいに。年々短くなる秋を、コーヒーで少しでも長く感じられますように、そんな願いが込められています。秋らしいデザインを詰め込みました。 p.s. 今年の残暑は厳しかったですね、...



### あの時のあの味。

冬限定【思い出香る、冬ブレンド】のテーマは、友達との会話に花が咲きがちな冬の喫茶店。会話に夢中になると自分が何を飲んでたのか、どんな味だったのかを思い出せない。会話と共に記憶に残るコーヒーをつくりました。



### 自分で描いた絵が、全国に飛び出す!?

クリスマスブレンドのイラストは直売所のお客様に描いていただきました。テーマは、“心あたたまるクリスマス” 子どもでも、大人でも、誰でもオッケー。上手い、下手じゃない。心温まるイラストがたくさん集まりました。



## 02 季節を彩ったポスター

毎年、夏と冬に配布しているオリジナルポスターは、企画から撮影まで全て社員で行っています!



2025.夏ポスター

夏ポスターでは、ビーチフラッグ風のアイスコーヒーを巡って、競う男たち。「そんなことしなくても、喫茶店に行くと美味しいアイスコーヒーが飲めますよ」というストーリーです。男たちの躍動感が素晴らしいインパクト大なポスターでした。



2025.冬ポスター

冬ポスターでは湖のほとりにこたつを出して撮影した、ちょっと不思議であたたかい1枚。【楽しみ方は、ひとそれぞれ。】ロケ地は森に囲まれた静かな湖畔、摩耶山の穂高湖にて撮影しました。コーヒー片手にふとポスターを眺めて癒されていただけで嬉しかったです。

## 03 クラシックシリーズがドリップバッグになりました!!



クラシックブレンド クラシックピター クラシックスイート

昭和のはじまりから変わらず続く、萩原珈琲の「クラシックブレンド」。この度、その中から【クラシックブレンド・クラシックピター・クラシックスイート】の3種類が、ついにドリップバッグになりました。珈琲豆の供給が安定しなかった時代や、喫茶店での提供スタイルなど、当時の時代背景の中で生まれたブレンドコーヒー。今もなお長く愛され続けている味わいを、新しいかたちでもぜひお楽しみください。

## 04 まるで“本”なコーヒー!?

<p>朝のブッキングコーヒー</p> <p>2025年度実績! 11万杯飲まれた!!</p> <p>あなたは朝もう一度目覚める!</p> <p>☑ 読書をはじめたい方 ☑ 途中離脱にさようなら</p> <p>ドキドキする時 わくわくする時 ハラハラする時</p> <p>あなたはどのタイミングでどの一枚を選びますか?</p>	<p>朝のブッキングコーヒー</p> <p>2025年度実績! 11万杯飲まれた!!</p> <p>あなたは朝もう一度目覚める!</p> <p>☑ 読書をはじめたい方 ☑ 途中離脱にさようなら</p> <p>ドキドキする時 わくわくする時 ハラハラする時</p> <p>あなたはどのタイミングでどの一枚を選びますか?</p>
--	--

神戸「本」の文化振興プロジェクト。世界を広げる、ほんとの出会い。神戸市内の5社による読書グッズに萩原珈琲も参加させて頂きました。毎日の朝の時間を、読書でリズムよく過ごしてみませんか? 朝の時間をブッキング!! まるで本のようなパッケージは、自分用にもプレゼントにも最適でした。苦味、甘味、スッキリ。物語の場面ごとに、気持ちも感情も変わります。読書とともにその時の心境に合わせられる珈琲をパッケージしました。



## 05 女性焙煎師の誕生!?

創業96年が経ち、萩原珈琲初の女性焙煎師が誕生しました！長年作業場で珈琲の出荷業務に携わり、3か月の焙煎研修を終え独り立ちです。

女性焙煎師が焙煎した豆、きつともうお飲みいただいています！

「新しい」けど「変わらない」伝承の味わいをお届けしていきます。



## 06 情報だだ漏れ!? 川の中座談会

萩原珈琲では、ちょっと変わった場所で会議をするのが恒例です。

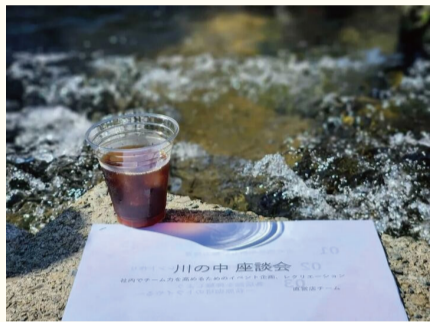
以前は「山の上」でテントを張って行いましたが、「山」の次は「川」ということで、今回は【川の中座談会】を開催しました。部署ごとに「社内のチーム力を高めるイベント・レクリエーション」をテーマに、珈琲屋の枠を超え、地域を巻き込んだ自由で遊び心あふれる企画を募集。

製造部・総務部・直営店・営業部・企画部の5チームが、プレゼン+質疑応答で真剣勝負に挑みました。

川のせせらぎに負けない声で発表し、道行く人に内容がダダ漏れの中、真面目に議論。

栄えある1位は……製造チーム！

来年からの社内レクリエーションは、さらにパワーアップしそうです。



## 07 名残惜しいでは、遅いのだ。 まるも珈琲店の継承

萩原珈琲は2025年5月、長年お取引のあった「まるも珈琲店」を引き継ぎました。

代表が生まれ育った町、神戸市灘区で長く愛されてきたこの店は、単なる喫茶店ではなく、地域の文化であり、人と人が自然に交わる場所でした。

長年培われてきた味わい、店内の雰囲気、窓から見える景色。そこに流れていたであろう会話や、一見無駄に見えて、実はとても有意義で豊かな時間。そんな日常が、この場所には確かに息づいていました。幼少期から過ごしてきた地元にある店が失われてしまうことは、とても悲しいことです。夕方になると、地域の子どもたちが宿題をしに訪れ、少しおせっかいな店主がそれを教えている。一そんな光景が、当たり前のように存在すること。

萩原珈琲は、下町のふつ々の暮らしを「名を残す」ことで、これからも刻々と続けていくことを選びました。



## 08 関西万博進出! 神戸市ブースにて3日間出店しました!

8/1~3の3日間、関西万博に出店しました!

神戸市ブース KOBE COLOR にて珈琲を通じて、神戸の魅力を発信させていただきました。

かなり暑い時期でしたので、冷たいアイスコーヒーをたくさん提供できました。

また万博のひょうごフィールドパビリオン認定プログラムとして、一般の方に向けての工場見学を3回実施しました。焙煎工場の見学や淹れ方のワークショップで大変盛り上がりました。



## 09 体験から生まれる、学びと未来 トライやるウィーク

今年も2週間にわたり、中学生の皆さんと一緒に学ぶ弊社独自のプログラムを実施しました。

経営、工場見学、焙煎体験、出荷・梱包、ブレンド作り、受発注業務など、コーヒーづくりの工程に幅広くチャレンジ。

最終日には、その日限りのテントカフェを開業し、自分たちで考えたオリジナルブレンドコーヒーを販売しました。

地域の皆さまをはじめ、多くのお客様にお越しいただき、活気ある時間となりました。

本プログラムでは、コーヒー屋さんという“ツール”を通して、働く楽しさや、サービスが多くの人の関わりによって成り立っていることを体験的に学びました。

この経験が、生徒一人ひとりの未来につながることを願っています。

※テントカフェでの売り上げは、兵庫県立こども病院へ寄付いたしました。



## 10 和歌山県・岩出市 炭の生産者との交流

2年前から取り扱わせていただいている根来山げんきの森（和歌山県・岩出市）の炭。活動をされているのは、『NPO法人 根来山げんきの森倶楽部』さます。地域のみなさまの「自分たちの町の山を綺麗にしたい」という思いから、ボランティアの方々だけで山を守り続けています。その活動の1つである「炭づくり」に、私たちが2年前から一緒に参加させていただいています。今年も、窯から取り出した炭の切り出し作業に挑戦しました。窯には約1,000kgの木を詰め、完成する炭はおおよそ250kg。使用する木は4種類程で、常緑樹と落葉樹では密度や硬さが異なるため、火力や持続力にも違いが生まれるそうです。また、皆様に工場見学にもお越しいただき、木炭を軸にした交流を深めています!



## 11 鳥取県・日南町 炭の生産者との交流

代表 萩原のルーツの半分は、鳥取県日南町にあります。過疎化が進む町で、何かできることはないかと考え、取り組んできたのが、日南町産の木炭のみで焙煎するコーヒー「つながるブレンド」です。売上の一部を日南町へ寄付させていただいたり、コーヒーを通して町で企画を行ったりと、森の循環、人、ものが長く「つながりますように」という想いを込めて作られたブレンドです。この度、町役場のみなさまに神戸までお越しいただき、日南町産ひのきの盾（感謝状）を頂戴いたしました。誠にありがとうございます。「森」の話を始めると止まらなくなる代表・萩原。その原点は、間違いなく日南町にあります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 12 働くことへの、やさしい入り口。 超短時間雇用、はじまりました。

「社会に出て働きたい。でも、そのための環境や場所がない。」そんな方たちが、社会へ一歩踏み出すきっかけになればという思いから、昨年11月にアナログな生豆精選機を導入しました。システム制御をあえて使わず、精選機に似た仕組みの、システムに左右されないアナログな機械です。半年間の試運転と社員の訓練を経て、今年6月から就労支援施設に通う2名の方が、実際に弊社で働きはじめています。システム制御に比べると非効率ではありますが、「誰でもできる仕事」へと生まれ変わりました。



## 13 当たり前じゃない、「食」を知る ほるもん部のカレー作り

神戸市西区の小池農園さまにて、3月に植えた人参とジャガイモをついに収穫しました。少し前に収穫した玉ねぎと合わせて、みんなでカレー作り！まずは、収穫チームと買い出しチームに分かれて作業。カレー作りも、洗う、切る、お米を研ぐ、炊く...とにかく分担、分担！テキパキと役割分担をして、40人前のカレーがあっという間に完成しました。ほるもんプロジェクトが始まって、今回で2回目のカレー作り。去年は発芽せず、まったく収穫できなかった人参。今年は嬉しい収穫！...のはずが雨の影響で下部が腐り始めていたり、玉ねぎもあまり収穫できなかったりと、普段何気なく食べている野菜を育てることの難しさを、改めて実感しました。今回は、別のイベントで来られていた団体の皆さまとも、お味噌汁とカレーを囲んで交流させていただき、とても有意義な時間となりました！



## 14 捨てない、つくる、たのしむ 麻ぶくろ縁日～捨てるものから、笑顔を～

道具を買うもよし。作る（創る）もよし。今回は、コーヒー屋さんの“捨てるもの”から、遊び道具やゲームそのものを創って（作って）遊ぼう！という企画です。使ったのは、ほおるもん（捨てるもの）である麻袋と焙煎廃棄豆（生育不良豆）。この2つを活用して、参加した大人や子どもたちみんなで、麻だま（お手玉のようなもの）を作りました。そこからさらに、どんな遊びができるかを考え、全部で5つのゲームが誕生。子どもたちの自由な発想と創造力によって、何でもないものが、心から楽しめる遊びへと生まれ変わりました。“捨てるもの”から始まった、笑顔あふれる縁日となりました。



## 15 装い新たに、気持ちもキリッと 今年も新ユニフォームを作りました！

夏には、ポロシャツが新しくなりました！袖に加えて胸ポケットにもロゴが入り、素材もより動きやすいものにアップデート。そして冬には、新たにトレーナーを作成。社員の間では、通称「ハギトレ」と呼ばれています（笑）新しいユニフォームとともに、気持ちもキリッと。これからも頑張ります！



## 16 小さな手で届けた、優しい一杯。 こどもチャリティーカフェ開催！

1日限定で開催した「こどもチャリティーカフェ」。小・中学生のみなさんに、カフェのお仕事を体験してもらいました。このイベントの目的は、コーヒーを通じて、さまざまな病気と向き合う子どもたちの不安な気持ちに寄り添う「ホスピタルファシリティドッグ」について、多くの方に知ってもらうことでした。微力ではありますが、萩原珈琲としてこの取り組みを応援したいという想いから、チャリティーカフェを実施しました。（\*売上はすべて、兵庫県こども病院さまの「ホスピタルファシリティドッグ」を迎えるためのクラウドファンディングへ寄付させていただきました。）当日は6名の子どもたちと一緒に、たくさんのお客様にコーヒーやジュースをご購入いただきました。ご支援・ご協力、誠にありがとうございました。この1日の体験が、子どもたちにとって「大人になったときに、何が出来るかな？」と考えるきっかけや、「働く」ことの意味を感じる時間につながっていれば嬉しく思います。



# 17 体験を通して広がる、コーヒーの楽しみ方 充実！工場見学&セミナー

萩原珈琲では、珈琲好きな方はもちろん、年齢や世代を問わず、さまざまな方に会社の取り組みやコーヒーの楽しみ方をお伝えしています。

高校生を対象としたオープンファクトリーでは、今年は4校の生徒のみなさんに工場見学へお越しいただきました。会社の取り組みや、仕事のやりがいについて実際に見ていただく機会となりました。一般の方向けには、美味しいコーヒーの淹れ方や産地ごとの飲み比べを体験していただき、毎年恒例の「おやじラボ」では、ブレンド作りを一緒に楽しませてもらいました。

また、年末にはオンラインでのコーヒーセミナーも実施し、より多くの方に萩原珈琲やコーヒーの魅力を知らせていただけるよう、日々取り組んでいます。

## オープンファクトリーの様子



## おやじラボ(左2枚)/ オンラインコーヒーセミナー(右1枚)の様子



# お陰さまで、たくさんの寄付ができました。

皆さまにご購入いただいた対象商品の売上5%を、下記の団体へ寄付させていただきました。  
(集計期間：2024年10月～2025年9月)

## ● 摩耶山再生の会

50,000 円

- ※摩耶山の保全・整備・イベント運営など
- 【対象商品】
- ・摩耶ブレンド
- ・MAYA KANKO HOTEL ブレンド

## ● 灘中央市場

20,000 円

- ※市場の維持、魅力発信事業など
- 【対象商品】
- ・灘の下町ブレンド

## ● 認定 NPO 法人 D×P

100,000 円

- ※若者の孤立を防ぐための食糧支援
- 【対象商品】
- ・おやじブレンド
- ・おかんブレンド



豆・粉・ドリップバッグを含む、対象商品のすべての売上5%を寄付させていただきます。  
お陰さまで、今年もたくさんの寄付を行うことができました。  
心より感謝申し上げます。

# 18 炭火焙煎カフェ 旧醤油蔵もうすぐオープンします！！

この度、萩原珈琲は、神戸市北区八多町にある旧・畠中醤油醸造所を活用し、【コーヒー焙煎所兼カフェ】として開業することとなりました。(2026年5月予定)。

施設内では、地域食材の提供や直売マルシェの設置をはじめ、体験型ワークショップや教室の開催、レンタルスペースの運営などを行い、\*\*里山交流施設(認可)\*\*として、八多町の魅力を発信していきたいと考えています。

八多町は、淡河や大沢の境に位置し、自然豊かな農村地域で、今もなお里山の風景が色濃く残る場所です。米作りやいちご、野菜の栽培など、神戸の「さらびやかな海」のイメージとは少し異なる、あたたかく、豊かな里山文化が息づいています。

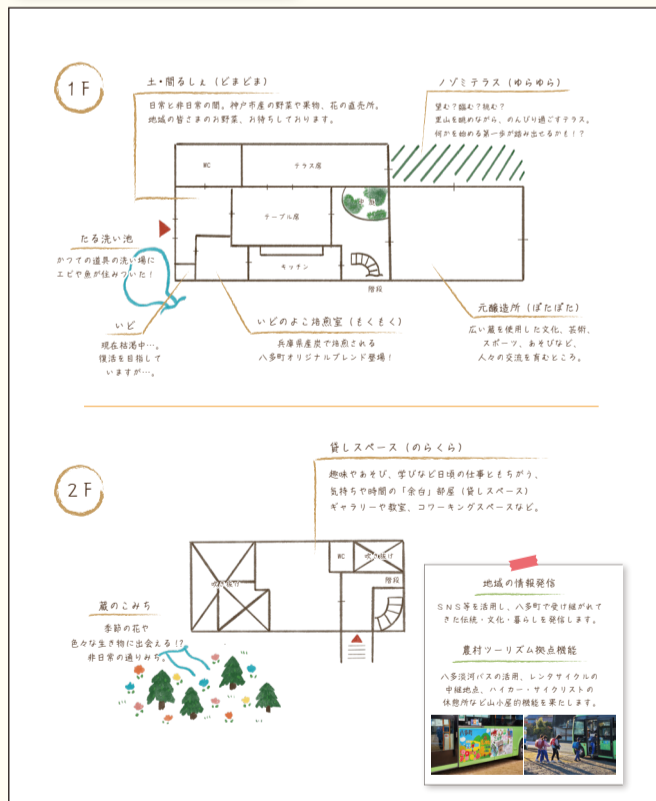
カフェで提供する「八多町オリジナルブレンド」を、八多町の皆さまと一緒に作りたい。そんな想いから、まずは八多町を知り、学ぶことから始めようと企画したのが、まち歩きイベント\*\*八多町まち歩き「八多“超”クエスト」\*\*です。このイベントを通じて、地域の方々と交流しながら、一緒にお店づくりを進めていきます。

炭火焙煎カフェ

## 旧醤油蔵

## 旧醤油蔵リノベーション工事の様子

## 八多超クエストの様子



## 編集後記

毎年恒例の振り返り新聞ですが、取り掛かりが遅くなってしまった分、反省も込めて今回はかなり内容濃く振り返っています！

萩原珈琲ではイベントや商品企画など少数精鋭で知恵や体力を振り絞りながら日々取り組んでいます。

振り返ってみると、昨年は大人から子どもまでたくさんの人と関わりながら仕事をしていただくと感じています。

感謝の心を忘れずに2026年も頑張っていきます。



Instagram



ホームページ